



江川辰三紫雲臺祝下を戒師にお迎えして。

去る六月九日から十二日までの四日間、「報恩大授戒会」が当山で開催されました。大授戒会は、曹洞宗の数多い儀式の中でも、もつとも重要な儀式です。

お授戒とは、お釈迦様のみ教え、私どもが守るべき心のいましめである戒法を、戒師様よりお授けいただき、その法力によって仏弟子となり心豊かな生活に目覚めるための儀式です。その戒師に、大本山總持寺貫首江川辰三紫雲臺祝下をお迎えしました。授戒会に参加される方を戒弟といいますが、今回は八十九名の檀家様が参加されました。

しかも全国から八十名近くのお坊様がお集まりくださり、さながら大本山總持寺が臨南寺に移ってきたような壮観さがありました。

# 報恩大授戒会、四日間にわたり 三十年ぶりに臨南寺で修行されました



No. 48  
2016 Summer

山松舎  
臨南寺

## 報恩大授戒会に参加して



臨南寺護寺会総代 村上 章さん

私は毎月一回お墓参りをしていきます。その時、家族全員で「修證義」を唱えています。その第三章に「受戒入位」という章があります。お授戒のありがたみを感じ、感銘を受けました。四日目の最終日には、戒師様から四字安名とお血脈をいただくのですが、私はすでに安名をいただいていたので、お血脈だけをいただきました。これはお釈迦様から数えて八十八代目の弟子にあたる系図であり、私が仏弟子になった証であります。非常に意義深く、戒師をお勤めいただいた江川禅師様をはじめ、なかなか経験できない貴重な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。



先代住職の  
十三回忌法要

「御垂示」を述べられる江川禅師様

報恩大授戒会二日目の六月十日には、先代住職渡邊剛毅大和尚の十三回忌法要が営まれました。江川辰三禅師様を導師として、大本山總持寺で修行した言わば先代住職と同窓の八十人近いお坊様も参列されて、盛大な法要となりました。

続く「御垂示」で、江川禅師様は「帰る時、来る時よりも美しく」と述べられ、「あの世へ行く覚悟をしながら毎日励んでいる。生まれてきた時よりも美しい心、美しい姿であの世へ行けたら有り難い」と締めくくられました。



うらを見せ おもてを見せて 散るもみぢ 良寛

## 八月はお盆の季節です

間もなくお盆の季節がやってくる。臨南寺では、八月十日と十二日に、お墓経を勤めさせていただきます。十日が午前十時から正午まで、十二日が午後五時から九時まで。どちらかご都合のよい日にお越しください。

十二日は、弁財天万灯会を催します。午後六時から九時まで、臨南寺の本堂前はろうそくの揺らめく灯りに包まれます。完成したばかりの客殿「圓通閣」の一角には弁天堂も再興されました。弁財天様への献灯をご用意していますので、願い事を書き入れ、本堂前にお供えいたしましょう。

万灯会はお盆の迎え火でもあります。ご先祖様や亡き人へのご供養とともに、皆様の願い事をご

祈祷させていただきます。ご祈祷は、六時半からと八時からの二回行われます。

十六日には、盂蘭盆会施食会を修行します。各家の精霊をご回向させていただきますので、ぜひご家族そろってご参りください。ご都合が悪くお参りできない方は、不参にてご回向をお受けしますので、お問い合わせください。



8月12日、本堂前は幻想的な灯りに包まれます。

## 臨南寺 景百



## 客殿「圓通閣」が完成

報恩大授戒会の一日目の六月九日、江川禅師様を導師に迎えて、客殿「圓通閣」の完成を祝い落慶法要が執り行われました。

大澤住職の実家は、福島県会津美里町にある普門山弘安寺です。弘安寺のご本尊は十二面観世音菩薩様で、「中田観音」と呼ばれ多くの人々の信仰を集めています。野口英世博士のお母様が厚く信仰したことも有名です。

安産の靈験で知られる中田観音。その観音様のお姿を模したお像が、この圓通閣にも安置されています。「圓通閣」という名前も弘安寺の観音堂に由来しています。

寺務所も圓通閣に移りました。ご用の際はよろしくお願ひします。



落成した客殿「圓通閣」、簡素ながら美しい姿です。



江川禅師様を導師に迎えての圓通閣の落慶法要。



住職  
日誌

# 江川辰三紫雲臺猊下に

## 感謝致します

本年、渡邊先代住職の十三

回忌を迎えるにあたり、山門と

客殿「圓通閣」の落慶法要、報

恩大授戒会を併せて修行致し

ました。先代より後を引き継

ぎ早や十二年。時の流れの速さ

を痛感しております。

授戒会の戒師だけでなく、落

慶法要・十三回忌の御導師まで、

大本山總持寺貫首江川辰三紫

雲臺猊下にお勤めいただき、四

日間にわたる大法要でした。私

自身、戒弟の皆様とともに日々

の修行を通して自己を見つめ

直す事ができました。完成を

迎えた時の感動へお導き下さっ

た江川禪師様に感謝致してお



臨南寺 住職  
大澤正道

ります。この経験を糧に今後益々精進していこうと心を新たに致しました。

圓通閣落慶法要には各方面よりご浄財を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、お檀家様には圓通閣を、法事の控室やお食事の場所として、広くご活用いただきました。くご案内申し上げます。

合掌

## 九月は お彼岸です

●お彼岸には

ご家族で施食会に

九月二十五日、午後二時から

三時まで本堂にて彼岸会施食

会を修します。各家にゆかり

の精霊を、ご供養いたします。ご

先祖様をしのび、ご家族の幸

せに感謝いたします。ご家

族そろってご参りください。



●お彼岸のお写経も  
おすすめです

一文字二文字心を込めてのお

写経は、いろいろな功德があり

ます。ご先祖を供養し、故人

の冥福を祈り、浄福を授かる

ことができます。皆様のお写

経は、大本山總持寺に納経さ

せていただきます。九月二十日、

午前十時から午後三時まで行

います。

## 臨南寺行事予定（八月～九月）

□ お墓経

\* 八月十日

午前十時～正午 受付は午前十一時半まで

\* 八月十二日

午後五時～九時 受付は午後八時半まで

どちらか都合のよい日にお越しください。

臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。

□ 弁財天万灯会（本堂）

\* 八月十二日 午後六時～九時（献灯時間）

ご祈禱は一回目午後六時半

二回目午後八時、受付は八時まで

あらゆる願いを叶えてくださる弁財天様に、

願いを託して献灯をお供えし、福を授かりま

しょう。

お盆の迎え火としてもご献灯いただけます。

どなたでもご参加いただけます。

□ 盂蘭盆会施食会（本堂）

\* 八月十六日

午前九時～午後二時 受付は十二時半まで

お盆供養の法要を行います。

各家のご先祖様と、ご縁の深い精霊のご供養を

いたしましょう。

どなたでもご参加いただけます。

□ お彼岸写経会

\* 九月二十日 午前十時～午後三時

受付は二時半まで

お写経は、大本山總持寺に納経いたします。

寺務所で受け付けています。

お気軽にお申し付けください。納経料千円

□ 彼岸会施食会（本堂）

\* 九月二十五日

午後二時～三時 受付は二時半まで

お彼岸供養の法要を行います。お彼岸はご先

祖様に感謝し、わが身を省みる大事な期間です。

ご先祖様をしのび、今あることに感謝いたしま

しょう。

どなたでもご参加いただけます。





## マトリ合同法要



# 一番の供養は、 生前を思い出してあげること

ゴールデンウィークも最終日となる五月八日(日)午後時から、がっしょう園マトリの合同法要が営まれました。法話は山形県新庄市の福田院ご住職の長峰広道老師。お釈迦様を中央に道元禪師と瑩山禪師がお座りになられた「両祖」のお軸を背に、心に沁みるお話でした。

「優しい心の人が、優しい行動をするのではない。優しい行動をする人が、優しい心の持ち主。心と行動は一つのもの」  
 「鳥は鳴き声で知られ、人は語る言葉によって知られる。言葉はいったん口から出てしまうと、人を傷つけることもある」  
 「一番の供養はきれいなお花を飾るより、亡くなられた方の生前のことを思い出してあげること」

法話を聞いたあとはマトリに移り、読経の中ご焼香していただきました。



福田院ご住職の長峰広道老師。



## 墓苑をご利用の皆様へ

- 手桶を花立て代わりに使わないでください。  
ご使用後は必ず元の場所へお戻しください。
- ペットを墓苑内に連れて行かないでください。
- お供物は、カラスなどに荒らされる原因となりますので、各自お持ち帰りください。
- トイレにはトイレトペーパー以外は流さないでください。  
ティッシュペーパーは水に溶けません。  
ウエットティッシュや紙オムツも絶対流さないでください。



## お車でお越しの方へ

最徐行

境内地内は最徐行してください。  
大変危険です。



## 編集後記

今年初めに山門が完成し、五月に客殿の圓通閣が完成いたしました。六月には、四日間にわたって報恩大授戒会の大法要が修行されました。期間中には先代住職の十三回忌法要も執り行われました。当山が一步一步着実に前に向かって進んでいるのを感じます。(M)

## お気軽にご参加ください

早朝坐禅会

毎月第一土曜日

午前六時半〜 本堂にて

\*今年八月をお休みさせていただきます。

写経会

毎月二十日

午前十時〜午後三時

写経料・千円

\*いずれも事前のお申し込みが必要です。

「ほ〜っと」48号

平成28年7月

編集・発行： 稜伽林「ほ〜っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

☎ 0120-667-638

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール： rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ： http://www.rinnanji.com